

埼玉県知事選 #子育て政策聞いてみた 候補者対象 アンケート

メールアドレス

お名前 武田信弘

以下、回答を*の次に記させていただきました。

1?1. 保育園の待機児童を解消するためには現状の子育て政策で十分ですか。*
いいえ。不十分である。

1?2. 1-1 の回答を選んだ理由を教えてください。*
（「いいえ。不十分である」を選んだ方は、何を追加で施策すれば良いとお考えかも教えてください）（上限 200 文字）

*全ての回答の前に、前提条件がほぼ現在の社会状況が継続するという前提になっていることが、自分としては、大変に残念です。時期を月単位で明示することはできませんが、首都圏大地震などの関東圏を直撃する大地震が複数回、この数年のうちに起こってしまうことが確実であり、それ以降は、日本社会は非常に急激に変化せざるを得なくなるからです。また、北米大陸西岸やヨーロッパのリスボン沖などでも大きな地震が切迫していて、世界的にも、今後 10 年程度で、大きく世界情勢が変わります。このようなことを考慮せずに現状を前提に政策を考えても、意味がありません。以降の回答は、以上のような危機感を前提にしているものであることをご理解ください。

*ここから回答です。

過密都市の解消が優先事項の一番に来る必要があります。そのためには、職場ごと、都市部から地方への移転が必要であり、埼玉県で言えば、南部から北部への移転が必要です。まず第一に、行政機関が南部から北部へ移転し、直下型の大地震を想定した地域づくりを行う必要があります。そのときに、保育園などの施設規模などを検討し、人材や土地、建物の確保などを行うことになると思います。保育士の処遇改善
保育士は他業種に比べ給与水準が低く、また日々の業務負担が高いといったことから、資格を保有していながら保育士として働いていない潜在保育士が多く存在しています。年収大幅アップを求め、都内の保育園に保育士の流出が懸念されている状況もあり、各自治体/保育園では処遇改善が急務です。

1?3. 保育の質と量/保育士の確保のために、保育士の処遇（給与UPや家賃補助など）を改善することについて、考えをお聞かせください。また給与の引き上げを取り組みとし

て検討される場合は、どの水準まで引き上げるのが適切だとお考えですか。その場合は財源確保についてもお聞かせください。(上限 200 文字) *

* 二通りの考え方があります。ひとつは、限られた財源をやりくりし、給与やそのほかの条件での待遇改善を行うことです。もうひとつは、ボランティアの導入など、保育士の方たちに加えて、他の形での業務分担を行うことです。潜在保育士の方たちの状況調査も必要でしょう。どのような状態の方がどういった考えで保育の現場から遠ざかっているのかを、定量的、定性的に分析する必要があると思います。

1?4. 保育士は「子供の成長に関わり、命を預かり育む重要な仕事」です。保育士の社会的評価を是正し、「保育職」の理解促進や労働環境改善について、埼玉県として取り組みたいことがありましたらお聞かせください。(上限 200 文字) *

* 二通りの考え方があります。ひとつは、限られた財源をやりくりし、給与やそのほかの条件での待遇改善を行うことです。もうひとつは、ボランティアの導入など、保育士の方たちに加えて、他の形での業務分担を行うことです。潜在保育士の方たちの状況調査も必要でしょう。どのような状態の方がどういった考えで保育の現場から遠ざかっているのかを、定量的、定性的に分析する必要があると思います。

埼玉県内の学童保育は 1,686 カ所、H30 年度の待機児童数は 1,657 人。前年より減少しているとはいえ、小学校中・高学年になるにつれ入所しにくくなるため申込すら諦めているという潜在待機学童もいる状態です。

2?1. 学童保育の待機児童を解消するためには現状の子育て政策で十分ですか。
いいえ。不十分である。

2?2. 2-1 の回答を選んだ理由を教えてください。 *

(「いいえ。不十分である」を選んだ方は、何を追加で施策すれば良いとお考えかも教えてください)(上限 200 文字)

* より地域密着型の学童保育、つまり、その地域・地域に存在するあらゆる資源(人間や自然)を生かした形の保育が必要で、そのためには、地域に対して、学校がより開かれた形で運営される必要があると思います。究極的には、地域立小学校です。その中で、どのような学童保育ができるかも検討されることになります。

2?3. 今後の学童保育の運営についてはどのようなお考えが近いかお選びください。 *
配置基準・処遇改善とも難しい

2?4. 2-3 の回答を選んだ理由を教えてください。(上限 200 文字) *

* 国からの援助を今後期待するのは無理。首都圏地震が起これば、一気に財政悪化になり、地方は自前の財源でやっていくしかなくなるため。つまり、学童保育も含めて、今後は、その地域の住民力のようなものが試される時代になるのです。いかに地域住民が相互理解と協力ができるかが鍵となっていくでしょう。

③ 学童クラブの運営母体について

2?5. 埼玉県内の学童クラブ 1686 カ所のクラブ数の中で、公設学童クラブは 495 カ所 (29.4%) と非常に低くなっています。NPO法人 415 カ所 (24.6%)・社会福祉法人 505 カ所 (29.9%) に次いで、保護者会運営が 93 カ所 (5.5%) あります。埼玉県は、父母会や合同運営を基にしたNPO法人が多く、保護者や指導員が経営を含む運営の主体として大きくかかわるなど、保護者や指導員の負担も増えています。この現状について、考えをお聞かせ下さい。 *

その他 地域密着型のNPO

2?6. 2-5 の回答を選んだ理由を教えてください。(上限 200 文字) *

* 行政経費の捻出ができなくため、公設は無理。民営も利益を確保できるほど社会に余裕なく無理であり、残るのは、地域力に基づいた子育て組織となります。

3?1. 現在、子どもの6人に1人が相対的貧困と言われており、各地方自治体でも対策がなされている例があります(例:子ども食堂の整備や、夏休みの学童給食制度等)。子どもの貧困への対策として、あなたの考えを具体的な施策とともに教えてください。(上限 200 文字) *

* 首都圏地震が起こってしまうと、一気にインフレになり、銀行預金などは億の単位であっても、すぐに無価値になります。このことの意味は二つあり、ひとつは、富裕層の貧困化であり、もうひとつは、自発的な労働の必要性です。この自発的な労働力を基礎とした地域通貨制度をつくり、子供にかかわる仕事のポイントを大きくすることがいいと思います。

4?1. 1?3 の質問以外で、推進されている子育てに関する政策がありましたらお聞かせください。(上限 200 文字)

* 基本的に、生きている意味は、命をつなぐことです。その意味で、子育ては、社会の中心に位置付けられてもよいことです。技術の進歩により、伝染病や自然災害との闘いの負担が減ったため、今後の世界でこそ、子育てを社会の中心的な課題として位置付けることが可能です。また、命とはそもそも何かを問い直す必要性も出てくるでしょう。スーパーマンが優れているのかどうかという議論です。